

はじめに

私たちの暮らす沖縄は、豊かな生態系を育むサンゴ礁が広がる海域に散在する大小 160 の島々からなり、大陸が分岐した地史の中で生き物が独自の進化を遂げ、イリオモテヤマネコやヤンバルクイナ等多くの固有種を含む希少な動植物が生息・生育する生物多様性に富んだ地域です。令和3年7月には、その顕著な普遍的価値が認められ「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されました。



その一方で、島しょ性に起因する地理的条件から環境負荷の増大に対して脆弱であることや、広大な米軍基地の存在が環境に様々な影響を与えているという特徴があり、各種開発や経済活動等の進展による自然環境の破壊や航空機騒音等の基地から派生する問題、気候変動対策、廃棄物の適正処理やマイクロプラスチックを含む海岸漂着物への対応など、様々な課題に直面しています。

これらの現状を踏まえつつ良好な生活環境を保全し、世界に誇る豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐことは、私たちの責務であるとともに、本県の有するこれらの環境は有限であることを再認識した上で、負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会を創りあげていかなければなりません。

このため、本県では、これまで取り組んできた「沖縄県環境基本計画」「第2次沖縄県環境基本計画」を継承するとともに、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を環境面から推進する新たな10カ年計画として「第3次沖縄県環境基本計画」を令和5年3月に策定しました。

本計画の推進には、県民、事業者等の皆様と行政が一丸となって、連携、協力しながら、積極的に環境保全に取り組んでいくことが重要です。

沖縄県としましては、SDGsの精神に則り、本計画で掲げた本県が目指す新たな環境像である「沖縄の豊かな自然の恵みを継承する、持続可能な循環共生社会」の実現を目指し取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

令和5年3月

沖縄県知事 玉城 デニー